

福島第一原発事故の後、区市町村で独自に学校や公園などの放射線量を測定する動きが広がっている。国や都道府県の対応が不十分なためだ。そんな中、東京23区内では、なぜか荒川区だけが「測定の必要はない」との方針を打ち出している。区民から測定を求めた声が出ているが、なぜ区は「独自方針」を貫くのか。

(出田阿生、秦淳哉)

## 荒川区だけ 放射線独自測定せず

太一郡区長もあいきさかしてきた。区内の市民団体は七月、独自測定を求め、汚染牛肉を求めた約千人分の署名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

「荒川区は、大気中の放射線量をほじめ、プールの水も砂場も学校給食も、すべて「安全だから測る必要はない」と言っている。放射線は目に見えないから、いたずらに怖がるだけだ。冷静に対処するためにも、身近な放射線の値を知りたいのに」。同じに住む四歳と八歳の子を持つ母親の森明美さん(56)は、こう話し始めた。

「地元で細かく計測しなければ、除染もできない」と、荒川区の保護者らは区や区議会に再三働きかけてきた。区内の市民団体は七月、独自測定を求め、汚染牛肉を求めた約千人分の署名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

## 住民「根拠なく余計に不安」

力所)だけだ。六月と九月の定例区議会では、複数の区議が独自測定を求めたが、区側は「測定機器の精度、測定技術、専門的知識の必要性などの見地から、都健康安全研究所センターの一括調査と公表が望ましい」と繰り返した。

たえば、区議会の委員会で総務企画部長の答弁はこうだった。

「マスコミではある意味ヒステリックというぐらいの非常にいろいろな情報が流れた。そうした中、区としては専門性が必要と考える」「風評被害を含めて、安易に私どものような素人が測定すること自体が、案外リスクがある」

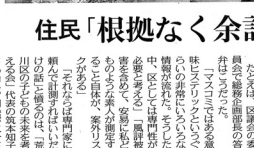
「それならば専門家に頼んで計測すればいいだけの話」と憤るのは、「荒川区の子どもの未来を考える会」代表の筑本知子さん(56)。同会が二三区を調べたと。荒川区以外には保育園や幼稚園、区立小中学校、児童館や公園などを中心に大気や土壌の放射線量を計測。砂場の砂の入れ替えなどの対策をとっていた。

今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

# 区長「安全だから不要」

「荒川区は、大気中の放射線量をほじめ、プールの水も砂場も学校給食も、すべて「安全だから測る必要はない」と言っている。放射線は目に見えないから、いたずらに怖がるだけだ。冷静に対処するためにも、身近な放射線の値を知りたいのに」。同じに住む四歳と八歳の子を持つ母親の森明美さん(56)は、こう話し始めた。

今月、下の子が通う保育園で運動会が開かれた。開会式で同区の西川



今年十二日は商店主らも加わり、「汚染牛肉が市場に出回り、国民の名を区長に提出。同区Pは疑心暗鬼になって、T A連合は八月、放射線。区が計測器の購入を断った。区長に説明を求める要望(三百人分の署名を提出)を出した。

経産副大臣時に  
原発問題で奔走

「こちら特報部」の調べでは、定点測定区が大井町た（表参照）定域以外でも「都の測定は区内三万所だけで取得力がないので、できる限り多数の地点を計画した。今後とも」と江東区の相模野は話す。

なせ、荒川区はかたくなに測定しないのか。関係者の多くは「区長の強い意向」という。保守区議ですら「なせ区長はそこまで意固地になるのか」といふが。

西川区長は都議を二期務めた後、一九九三年に衆議院に初当選。三期務め、小泉政権時の二〇〇二年に現職で東京電力のトップに隠しては、安全点検で原発が一時全基停止した際、経済産業副大臣として節電対策や原発運転再開に奔走した。〇四年に区長に就任し、現在一任期目。

荒川区教委が今年八月、区内の中学生四十人を対象に開いた「今、中学生が立ち上がるべき〜東日本大震災から学ぶ中学生講座〜」の講師の一は「電力の供給状況の社員が呼ばれた。テーマは「電力の供給状況

# 東電と密接な関係？

## 震災後 社員招き中学生向け講座

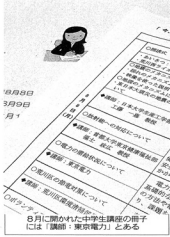
東京23区による空間放射線量の測定状況

区名	実施	定点測定地	測定頻度
千代田	〇	6	週1回 毎日
中央	〇	3	毎日
港	〇	1	週1回（ほかに砂場5.6カ所を週1回）
新宿	〇	2	週1回 月1回
文京	〇	5	毎日
台東	〇	1	1カ所を毎日、3カ所を週1回
東田	〇	4	過去に1093カ所を1回
墨江	〇	0	週1回
品川	〇	2	過去に1回
目黒	〇	16	2週間1回
大田	〇	3	週1回
目黒	〇	1	毎日
豊島	〇	0	過去に113カ所を1回
荒川	〇	1	過去に110カ所を1回
板橋	〇	0	月1回
足立	〇	8	週1回
北	〇	3	過去に約280カ所を1回、約70カ所を複数回
豊島	〇	0	〇
板橋	〇	1	毎日
練馬	〇	12	毎日
足立	〇	1	毎日
豊島	〇	7	週1回
荒川	〇	8	毎日

※〇印は福島第一原発の事故後に測定を実施

について。さき「首都大学東京の福士教授も「放射能」になりやすくなるかもへ対応について」と題し講演した。福士教授は「原子力エネルギーをエネルギー資源の一つとして利用しているのとを理解するとともに、環境放射線等の風評被害に悩まされない、正しく安全な原子力エネルギーの利用方法と生活のかかり方について理解することを」と題して記した。

今、中学生が立ち上がるべき  
〜東日本大震災から学ぶ中学生講座



8月に開かれた中学生講座の椅子には「講師：東京電力」とある

と、ストレスを高め、免いて「原発事故の原因だが、どの社の取材も受け授を仰えて、かえって「業や、一方向な環境の学しれない」と発言。か」と疑問視する。また今月、荒川区の保健所にて「放射線量測定について」区民の

・少年自然の家」の指定管理者として、「尾瀬林業」が初めに選ばれた。同社は東電が100%出資するグループ企業。そのため区議選では「なせこの時期に」と、参入を疑問視する声も出ている。

西川区長は「こちら特報部」の取材申し込みに対し、広報課を通じて「報道社からこの問題で取材依頼を受けているが、それでは何も進まない。できることをやって住民を守るのが、自治体としての責任ではないのか。きちんと不安感をお互いへの手段だ。」と返答している。

## 保養施設 指定管理者に系列企業

「メンテナンス」連前にもっとも責任を逃れて保養を営むリターが多い。国がやるべきこと。三機分立を君はと考えられた。「自ら社長になったわけじゃない。腰をさげてもいい。説明も決断もできないトップを指した部下は大変。正直な部下はうたがいのだらう。」(立)

声への回答文は、西川区長が特別区長会長として、都に全域測定を請願した経緯が述べられ、都と都府県が一回ずつ測定した区内の数値を挙げて「いずれの数値も健康に影響を及ぼす量ではない」とを根拠とし、「現時点で荒川区独自に測定を行う必要はないものと判断している」と記されている。